



# カリフォルニア大学デービス校

## University of California, Davis



アメリカ合衆国

●学部学生 24,655人 ●大学院生 7,500人 ●教職員 2,527人  
 ホームページ <https://cie.ucdavis.edu/>  
 交流協定締結年月日：2018年2月14日 主管学部：農学部



UC Davisと香川大学の協定書交換



ロバートモンダビ研究所  
 ワイン、オリーブ他の研究施設(中央)と学務関係事務所(右)

### 国際交流の特色

1905年にUC Berkeleyに農学専門学校が設立された。1922年、4年制の学位授与カリキュラムが制定された。1959年にUC Riversideとともに、カリフォルニア大学の独立した1キャンパスとなった。UCデービスのCollege of Agricultural & Environmental Sciences は農学、食品科学分野では北米1位の研究教育環境を保有している。カリフォルニア大学のキャンパスの中では最大の22km<sup>2</sup>に及び図書館や研究施設といった通常の大学施設のほか、飛行場や消防署も備わっている。

### 交流実績（平成27年度～29年度）

年度	H27	H28	H29
受入・派遣			
学生の受入	1	1	1
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	1	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0



事務局Mrak Hall

### 教員からの声

はじめてこの大学を訪問したのは、1989年。当時は、市内道路にバイクレーンがあり、車道とバイク、歩行者が分離されていた。太陽発電のモデル住宅地があり、見学者も多く、機能的な町として有名であった。デービス市は8万人ほどの比較的小さな町であるが、市内バスも整備されている。自転車が便利な移動手段で、大学を中心にした静かな大学町である。

UC Davisは農学、食品、環境分野では世界をリードする大学の1つであり、ワイナリーで有名なナパバレーに近く、大学でもワイン製造実習が受講できる。最近では、オリーブオイル製造技術の研究開発も地域連携プロジェクトとして組織的に進められている。カリフォルニア州がオリーブ生産の拠点となる日も近い。地域資源の産業化推進のモデル大学としても興味深い大学である。毎年数名の学生が短期留学生として、香川大学農学部で日本の伝統的な食品製造、安全技術について学びに来ている。最近では、アメリカ化学会のシンポジウムなど共催する機会があり、親しい研究者も多い。

農学部教授 田村啓敏



サイロ(本来は牛等の飼料の貯蔵所)は学生食堂。ファーストフードが中心だが、学生らが集まり、講義の合間の憩いの場所の1つになっている